

資料館だより

第 22 号

平成 7 年 3 月 25 日

編集・発行 武蔵村山市立歴史民俗資料館 〒208 武蔵村山市本町5-21-1 TEL 0425(60)6620



写真1 眞福寺堂山墓地の如意輪観音像

武蔵村山市の石造物

庚申懇話会会長

小花波 平 六

1 眞福寺堂山墓地の如意輪観音像 (写真1)

この如意輪観音像は眞福寺堂山墓地の入口にいくつかの大型の石仏、石塔類とともに並んで建っている。

女性にゆかりの深い如意輪観音像は木像では一面六臂のものが多く、石像では一面二臂に簡略化され、しかも小型になる場合が多い。しかし、この像は石像でありながら一面六臂で表現され、しかも大型であることから古い形態を止めているということが出来る。また、銘文のとおりこの像は念仏塔であり、丑年生れの女性により建てられたものであろうか。日付の十八日は観音様の縁日である。

慶安五年(1652)の石仏は現在までに確認されている市内最古のものである。像高は131cmである。

奉為念佛供養造立也
武朧多摩府村山郷中藤村
慶安五年壬辰四月十八日

敬白 丑女

〈銘文〉

なお、本像は「日本石仏事典」に紹介されている。

2 入り天満宮の馬頭観音 (写真2)

馬頭観世音菩薩
願主相州三浦郡水戸邑 恵信
にしさやまへ
享和元年辛酉祀晩春吉祥日村中安全
みなみ八王子
きた ふじ山
山口

〈銘文〉



写真2 入り天満宮東の馬頭観音

この塔には「馬頭観世音菩薩」の文字がていねいに深く彫りこまれている。この文字に陽が当たると彫り際に影ができ、文字が浮き上がって見える。

この塔は享和元年(1801)に相州(相模国)三浦郡水戸村出身の恵信という廻国の行者が村人の信頼・協力を得て建てたものであろう。馬の供養塔であり、道標も兼ねている。高さ148cmである。

3 原山の馬頭観音 (写真3)

武州たま郡原山村
願主 □ 左エ門

馬頭 観世音菩薩

寛政五癸丑十一月吉日

〈銘文〉



写真3 原山の馬頭観音

この馬頭観音はもともと、同じ原山地区の御伊勢の森神明社東の辻に建てられていたものである。

像を彫る馬頭観音塔はあまり多くないが、これはその例である。像は宝冠に馬の頭が描かれ、蓮座も美しく飾られ衣の裾の舞い上がった美しい姿である。光背部分も浮き彫りにされ、なかなかいねいな作りである。高さ122.5cmである。

4 原山の六ッ指地藏尊像 (写真4)

銘文が確認されず、作られた年代、由来などは不明である。しかし、この地藏には旗本前嶋氏にまつわる悲しい伝承があり、それが地域に語り継がれている。像の錫杖を持つ手(右手)の指は伝承どおり六本で表現されている。

現在でも地域の人々の信仰を集めており、千羽鶴などが奉納されている。

〈伝承〉 江戸時代の初め頃、原山の屋敷山に前嶋十左衛門という旗本が住んでおり、その殿様には指が六本ある娘がいた。その娘は年頃になると、身の不幸を悲しみ、世をはかなんで、自ら命を絶ってしまった。その娘を哀れに思った村人たちはお地藏様を建てて供養したということである。



写真4 原山の六ッ指地藏尊像

5 萩ノ尾薬師堂の宝篋印塔 (写真5)

八月十八日死去
 延文元年 申 丙
 了意禅尼
 歿故
 〱銘文〱

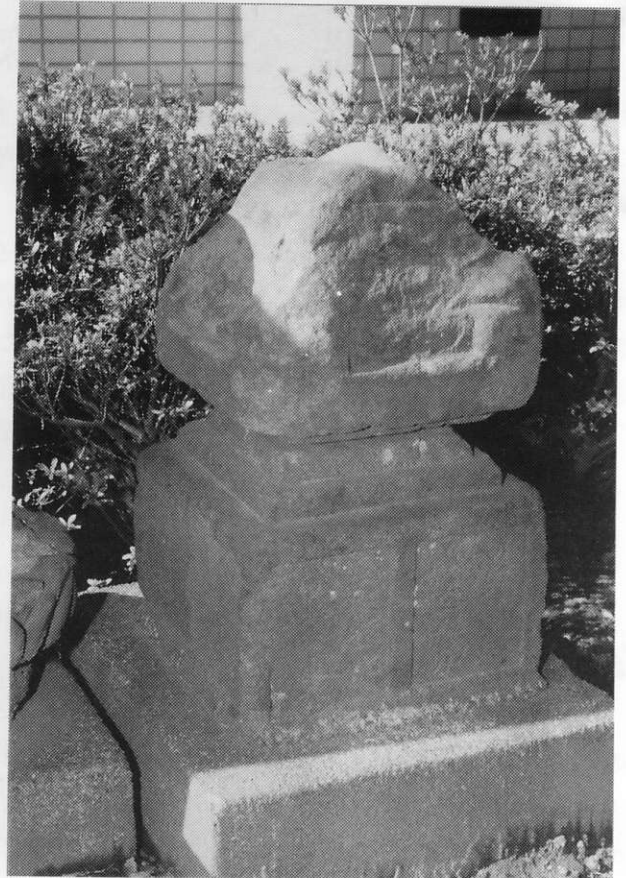


写真5 萩ノ尾薬師堂の宝篋印塔

すでに稲村坦元氏の「武蔵史料銘記集」などに紹介されている中世の宝篋印塔である。現在は笠及び基礎部分が残るだけであり、笠の磨滅は著しい。基礎部分の二重の枠（格座間）などに延文期の関東型の宝篋印塔の形式をよく示している。

「八月十八日死去」と刻む銘文も珍しく貴重である。なお、延文元年は西暦1356年、約640年ほど前の塔である。

6 歴史民俗資料館の馬頭観音 (写真6)

武州多摩郡上中藤村
 馬頭観世音菩薩
 安永八己亥年正月佳日
 〱銘文〱



写真6 歴史民俗資料館の馬頭観音

この馬頭観音塔はもともと赤堀地区山中の死馬捨場に建てられていたものである。安永八年（1779）に赤堀地区を中心とした上中藤の馬持ちの人々によって馬の供養のため建てられたものである。

高さ144cmで、彫りの深い堅実な字彫りの塔である。

7 横田吉祥院前の馬頭観音 (写真7)

横田村
 中村中
 願主 儀右衛門
 馬頭観世音菩薩
 天明六丙午三月吉日
 〈銘文〉

この馬頭観音はもともと中村地区を通る福生道の辻に建っていたものである。小さく浮き彫りにした馬頭観音座像を上部に配した、深くしっかりした字彫りの塔である。馬頭観音像は一面六臂で、四臂に宝輪、剣、まさかり、鈴を持ち、二臂は合掌をしている。天明六年(1786)に儀右衛門を願主に横田、中村の人々により建てられたものである。

高さが195cmもある大変彫りの良い塔である。



写真7 横田吉祥院前の馬頭観音

8 長円寺山門前の馬頭観音 (写真8)

三ッ木邨施主
 武州多摩郡山口領村山郷
 千時寛政六甲寅歳五月吉祥日
 馬頭観世音菩薩
 後ヶ谷戸
 峰村
 講中
 〈銘文〉

この馬頭観音塔はもともと三ッ木村順礼塚に建てられていたものである。大きくしっかり彫られた字彫りの塔で、高さは226.5cmもあり、市内では最も大きいものである。地域の人々により「長馬頭様」と呼ばれていた。



写真8 長円寺山門前の馬頭観音

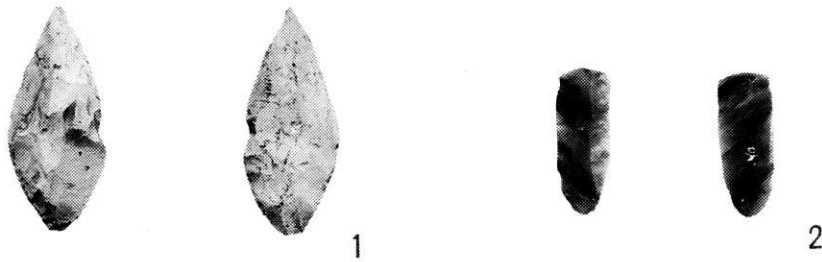
やしきやま いせき 屋敷山遺跡 採集の石器

平成2年12月26日に市内中央二丁目にお住まいの渡辺善一郎氏より当館へ石器2点の寄贈があった。この2点はともに旧石器時代終末期のものであり、屋敷山遺跡（中藤一丁目および中央三丁目）では今まで知られていなかった時代の資料である。市内全体でもこの時代の資料は少ないため、ここにその内容を紹介する。

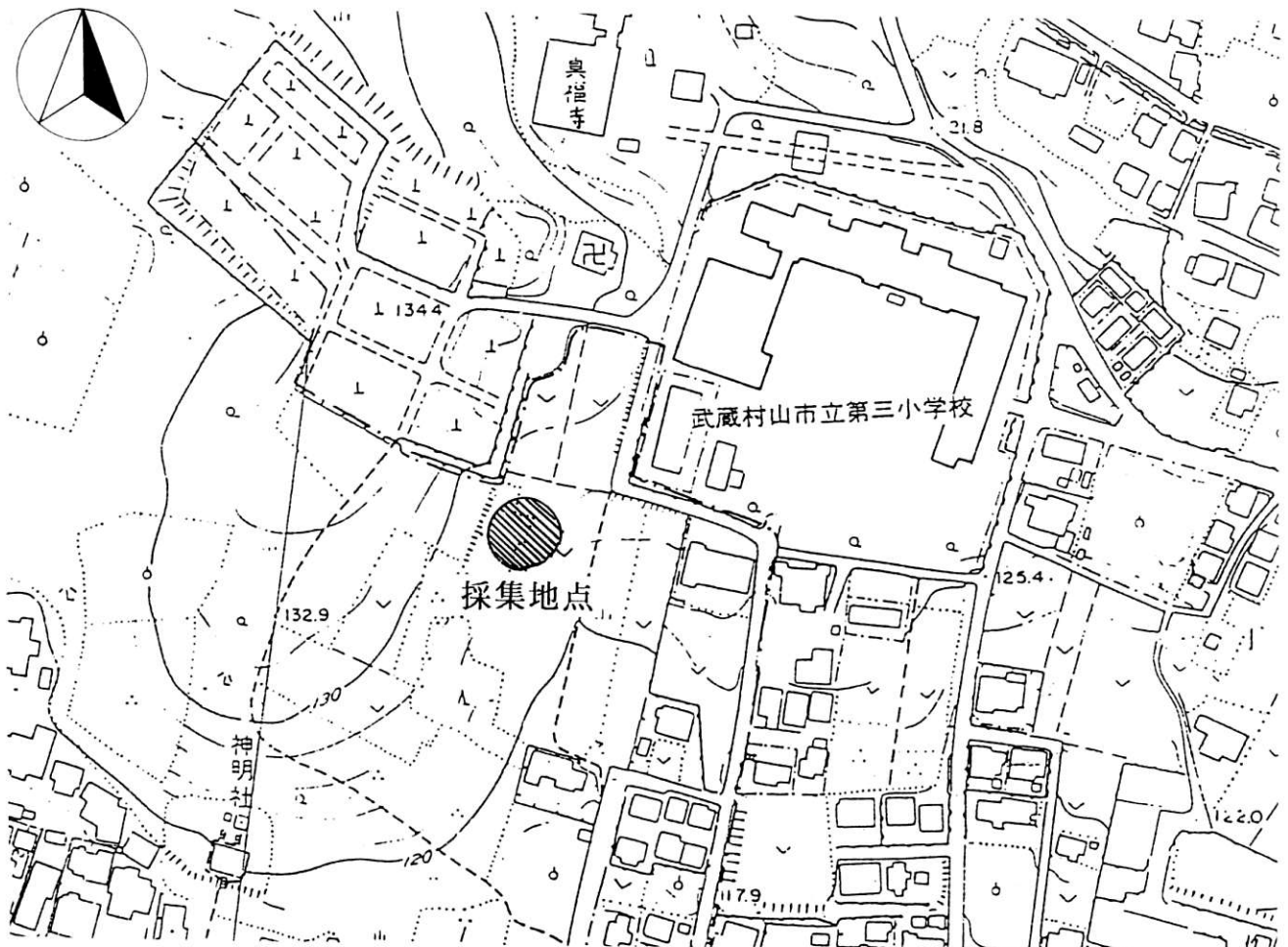
採集地点は市立第三小学校の西南の丘陵斜面の畑で、

屋敷山遺跡の範囲内である。この畑の耕作中に渡辺氏が採集したものである。

1は木葉形をした小型の尖頭器（石槍）であり、長さ4.6cm、最大幅2.1cm、厚さ0.9cm、重さ6.5gを計る。縦長の剥片を素材として、表面にはほぼ全面に調整剥離がみられる。裏面は剥片剥離面を大きく残し、基部に調整剥離が施されている。石質は頁岩である。



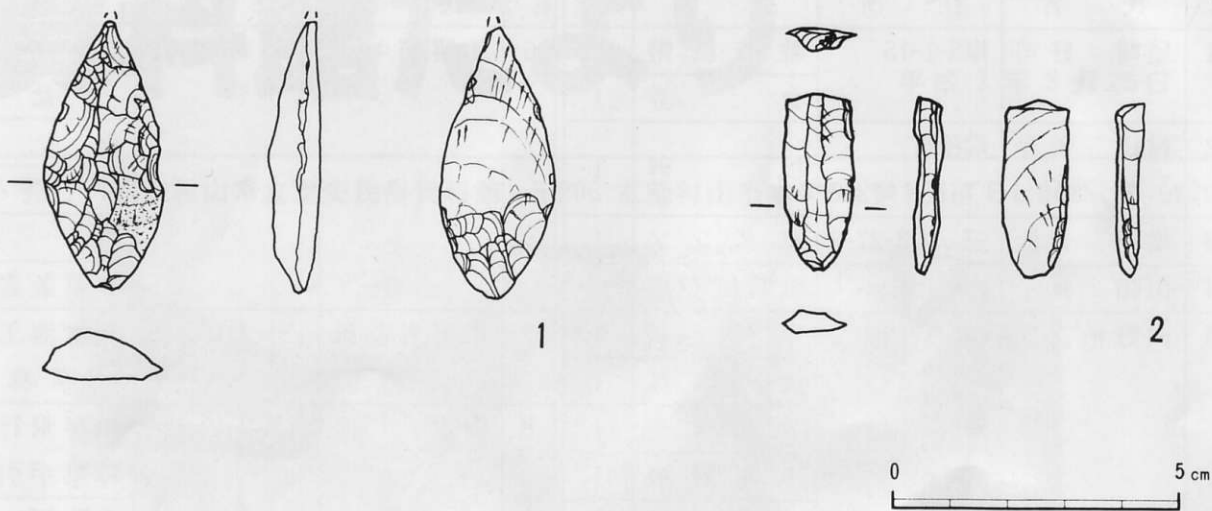
屋敷山遺跡採集の石器写真



石器採集地点（縮尺1/2500）

2はやや大きめの^{さいせきじん}細石刃であり、長さ3.0cm、最大幅1.2cm、厚さ0.5cm、重さ2.1gを計る。表面には2本の稜があり、横断面は台形状にな

る。裏面の右側縁には連続した調整が施されている。石質はチャートである。(山田義高)



屋敷山遺跡採集の石器実測図

— 収蔵資料紹介② —

あつ 美 つぼ
渥 美 壺

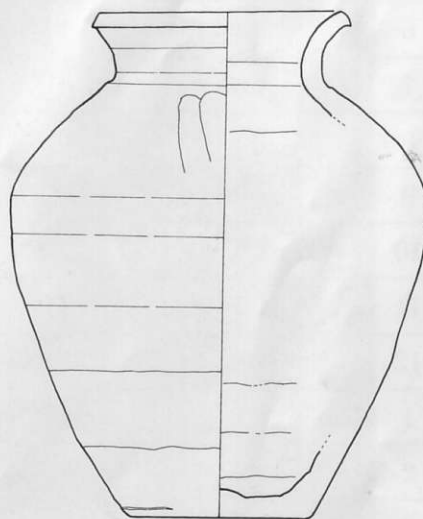
この壺は昭和48年に市内三ッ藤一丁目にお住まいの鈴木鷹貴氏(故人)より市教育委員会へ寄贈されたものであり、その後、昭和56年より当館で収蔵することとなった。鈴木氏からは「お齒黒壺」ということ^{はぐろ}で寄贈されていたため、長らく^{きんせい}近世以降に使用された^{がんりょう}顔料入れの壺と思われたまま収蔵されていた。しかし、その形態から中世陶器と考えられるため本市に直接関わる資料ではないが、ここに紹介しておきたい。

口径10.5cm、肩部最大径17.6cm、底径

7.5cm、器高21.5cmを計るほぼ完形の壺である。底部から肩部へ開きながら立ち、肩部は丸みをもち、^{けいぶ}頸部ですぼまり^{こうえん}口縁は外反する。口縁の断面は外側に折り返され、くちばし状になる。^{たいど}胎土は砂質で、焼きは良い。これらの特徴から鎌倉時代に渥美窯で焼かれた製品と考えられる。(山田義高)



渥美壺写真



渥美壺実測図

寄贈資料（平成5年10月1日～平成6年9月30日）

次の方々より貴重な資料を御寄贈いただきました。ありがとうございました。

区分 番号	寄 贈 者		寄 贈 品		区分 番号	寄 贈 者		寄 贈 品						
	氏 名	住 所	品 名	数量		氏 名	住 所	品 名	数量					
1	尾崎 好司	岸3-1-15	戦時紙幣	24	6	比留間キミ	三ッ木5-1-12	記念杯	14					
			食券	1				盆	1					
2	村山 美春	瑞穂町 箱根ヶ崎248	板 碑	1				重箱	2					
3	増尾 音治	三ッ木3-27-2	車 ダンス	1				神 棚	1					
4	山田 貞子	中藤1-1	戦時債券類	11				踏 鍬	1					
5	内野治三郎	神明1-12-3	車 ダンス	1				卒業証書類	11					
火 鉢			1	7	木下有崑雄	三ッ木1-51-2	貯水池工事 写 真	22						
カ ン テ ラ			1				8	岡本 保	本町2-19-1	少年飛行兵 募集手引書	1			
専 売 看 板			1							空襲予告ビラ	1			
か や			1							9	田口忠太郎	中藤3-21-1	火 鉢 ほ か	13
柳 行 李			1										10	清水 輝雄
6	比留間キミ	三ッ木5-1-12	ひな人形	25										
五月人形			7											
長火鉢			1											

資料館利用状況（平成5年4月1日～平成6年3月31日）

区分 月 別	開館日数	総利用者数	市 内		市 外	
			人 数	割 合	人 数	割 合
H5・4	24 日	994 人	453 人	45.6 %	541 人	54.4 %
5	22	874	499	57.1	375	42.9
6	24	455	188	41.3	267	58.7
7	26	603	339	56.2	264	43.8
8	25	1,095	520	47.5	575	52.5
9	19	737	264	35.8	473	64.2
10	25	703	283	40.3	420	59.7
11	22	792	453	57.2	339	42.8
12	22	390	206	52.8	184	47.2
H6・1	22	480	273	56.9	207	43.1
2	22	865	591	68.3	274	31.7
3	25	947	633	66.8	314	33.2
合 計	278	8,935	4,702	52.6	4,233	47.4